

1, 4-ジクロロ-2-ブテンの作業実態について

1 ばく露作業報告について

平成20年における1, 4-ジクロロ-2-ブテンの有害物ばく露作業報告は、合計1事業場から2作業について報告がなされた。作業従事労働者数は、66人（延べ）であった。取扱量の合計は約3220トン/年（延べ）であった。

2 ばく露作業について

ばく露作業としては、①1, 4-ジクロロ-2-ブテンの製造、②1, 4-ジクロロ-2-ブテンを原料とした合成ゴムの製造、での2作業が確認された。

ばく露が見込まれる作業に従事する労働者は全て有機溶剤用の防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋を使用しており、一部労働者は保護衣も使用している。

① 1, 4-ジクロロ-2-ブテンの製造

製造された1, 4-ジクロロ-2-ブテンの合成プラント及び配管、反応液の蒸留塔（分離機）等からのサンプリングがばく露作業に該当する。

循環ポンプ配管からのサンプリング（2分間×1回）、分析等を行う1労働者で、0.074ppmのばく露が確認された。サンプリング作業のスポット測定では、最大0.21ppmが確認された。

サンプリング作業は2分程度と短時間（各1回）であることや、屋外であることから、局所排気装置等は設置されておらず、有機溶剤用の防毒マスクが使用されていた。

分析等の作業については、囲い式フードの局所排気装置を使用されていた。

② 1, 4-ジクロロ-2-ブテンを原料とした合成ゴムの製造

ばく露作業としては、a) 原料となる1, 4-ジクロロ-2-ブテンのサンプリング（2～4分/回、4～6回/月程度）、b) 未反応となった1, 4-ジクロロ-2-ブテンの分離（蒸留）回収過程でのサンプリング（2～数分/回、4～6回/月程度）、c) 分離器（蒸留塔）下流配管でのストレーナー（フィルター）の洗浄（4～5時間/回、1回/月程度）等がある。

屋外であることから、局所排気装置等は設置されておらず、有機溶剤用の防毒マスクが使用されていた。